

施策評価シート（令和5年度の振り返り、総括）

作成日

令和6 年 04月 05日

施策 No.	23	施策名	道路ネットワークの整備
主管課名	建設課	電話番号	0285-83-8149
関係課名	商工観光課、環境課、都市計画課、都市整備課		

1. 計画 (Plan)

施策の対象	市内の道路						
対象指標名	単位	令和2 年度実績	令和3 年度実績	令和4 年度実績	令和5 年度実績	令和6 年度実績	令和6 年度見込
市道延長	km	1310.6	1311.8	1311.5	1311.7		
市道延長	km						
橋りょう数（橋長15m以上）	橋	31	32	34	36		

施策の目標	・幹線道路の整備が促進されるとともに、更なる道路網の整備が進められ、効率的で機能的な道路ネットワークを構築します。								
成果指標設定の考え方及び指標の把握方法（算定式など）	・「市道改良率」は、市道延長に対する市道改良済み延長の割合を示す。 ・「市道舗装率」は、市道延長に対する市道舗装済み延長の割合を示す。 ・「橋りょう修繕実施率」は、橋長15m以上の橋りょうのうち、修繕が必要な橋りょう数に対し、修繕を実施した橋りょうの割合を示す。 なお国の補助金交付要綱改正に基づき、令和３年度橋梁長寿命化修繕計画を改定し、令和４年度から15m以下の橋梁も修繕を行っている。								
成果指標名		単位	平成30年度 基準値	令和2 年度	令和3 年度	令和4 年度	令和5 年度	令和6 年度	令和6 年度 目標値
市道改良率	目標値	%	72.9	73.3	73.5	73.6	73.8	74.0	74.0
	実績値			73.6	73.7	73.8	73.8		
市道改良率	目標値	%							
	実績値								
市道舗装率	目標値	%	97.1	97.3	97.4	97.4	97.5	97.6	97.6
	実績値			97.7	97.9	97.9	97.9		
市道舗装率	目標値	%							
	実績値								
橋りょう修繕率（15m以上）	目標値	%	52.1	82.6	86.9	95.6	100	100	100.0
	実績値			73.9	78.3	94.7	94.7		
橋りょう修繕率（15m以上）	目標値	%							
	実績値								
	目標値								
	実績値								

施策の成果向上に 向けての 住民と行政との 役割分担	・市民は、事業への理解と協力に努めます。また、地域の道路愛護活動により環境美化にも努めます。 ・行政は、道路ネットワークの構築を考慮した、積極的な道路整備の促進に努めるとともに計画的な道路と橋梁の保全に努めます。
---	---

2. 実行（Do）→個別事務事業の実施による（事務事業マネジメントシート参照）

3. 検証・評価と今後の方向性（Check&Action）

（１）施策目標達成に対する要因分析と課題（①構成事業が与えた影響、②外的要因を踏まえて検証）

○市道延長は、道路整備事業等により市道295号線外を新たに市道認定するとともに、市道5065号線外を変更するなど、約0.2kmの増加となった。

○市道改良率は、市道延長が約0.2km増加し、令和５年度に実施した市道5086号線（石島）の改良事業が完了したが昨年度と同様の73.8%となり、目標達成に向け順調に進捗している。

○市道舗装率は、市道延長が約0.2km増加し、令和５年度に市内一円の道路舗装新設事業や県単農道整備事業を実施したが、昨年度と同様の97.9%であり、目標は達成したが、更なる整備を推進する。

○橋りょう修繕は、道路法施行規則で定められている5年に1度の定期的な点検を実施しており、令和4年度からは、橋長15m以下についても修繕を実施している。

点検の結果、構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置が必要な橋長15m以上の橋りょうは36橋のうち19橋であり、令和5年度末までに18橋修繕が完了し、修繕率は昨年度と同様の94.7%である。令和6年度に繰越し工事となった1橋の修繕完了で目標達成となる。

【参考】

○市内における国道の整備状況は、国道408号真岡南バイパス、国道121号京泉工区、国道294号八條工区及び二宮工区の４車線化の整備も進められており、令和４年度末現在で累計49.3kmの国道が整備されている。

○市内における県道の整備状況は、6路線の整備が進められていることに伴い、令和４年度末現在で累計111.5km（自転車道を除く）の県道が整備されている。

（２）今後の方向性（（１）の要因分析を踏まえ、施策目標達成に向けた方針を示す）

○市道の整備推進

令和４年度末現在、本市の市道改良率（73.8%）は、県内14市中7位、市道舗装率（97.9%）は、県内14市中1位と高い水準であるものの、令和５年度末時点における道路整備要望件数は道路改良102件（対前年2件減）、道路舗装131件（対前年1件減）と依然として道路整備を求める声が市民より多く寄せられている状況である。そのため、事業年数が複数年掛かり、事業費も高額である道路改良について、令和５年度に事業年数の短縮や事業費の抑制を図り、要望に対する整備を促進するため、要望箇所の全区間を広げるのではなく、待避所として部分的に広げ、車両のすれちがいを可能とする整備手法を検討した結果、令和６年度から待避所整備を促進する。

また、引続き、効率的で機能的な道路ネットワークの構築に向け以下の整備を推進させる。

- ・市道113号線中工区、寺内工区（新産業団地へのアクセス道路）の建設を推進する。
- ・生活道路の整備を推進する。
- ・市内一円の舗装工事の整備を推進する。

○長寿命化に向けた市道の舗装及び橋梁の維持・修繕の推進

区長を通じた道路修繕要望件数は、令和5年度18件（対前年同数）、市民等からの道路修繕・清掃等、維持管理に関する要望件数は令和5年度762件（対前年67件増）と、多くの要望が寄せられていることから、今後も以下の整備を促進する。

・長寿命化舗装修繕計画に基づき、舗装修繕工事を計画的促進させ道路舗装の適切な維持管理に努めるとともに、道路舗装修繕工事に合わせ安全で快適な自転車利用環境整備のため、自転車ネットワーク計画に基づいた自転車通行帯の整備についても推進する。

・市内の橋りょうを対象に、道路法施行規則で定められている5年に1度の定期的な点検結果に基づき、計画的に修繕を実施し、安全確保及び維持管理予算の平準化を図る。また、令和２年度の国庫補助事業の要件見直しにより、補助対象外となった橋りょうの構造物の機能に支障が生じてはいないが、予防保全的に行う修繕については、内容等を精査し、修繕の必要性及び財源の確保等を検討する。

・市民や企業等が、協働のまちづくりを理念に市民参加による道路の美化活動を行うため、わが子を想うような愛情を持って、継続的に市道の清掃や除草を行う「道路アダプトプログラム（里親制度）」や、「絆をつなぐ地域づくり事業」のメニューの１つである「地域道路愛護支援事業」等を積極的に活用してもらうことにより、道路維持管理費の縮減に努める。

【参考】

○国道の整備状況（令和5年度）

- ・国道408号真岡南バイパスの改良工事を実施
- ・国道121号京泉工区の舗装工事を実施
- ・国道294号八條工区の用地補償及び改良工事を実施
- ・国道294号二宮工区の用地補償及び改良工事を実施

○県道の整備状況（令和5年度）

- ・主要地方道栃木二宮線長島工区の用地補償及び橋梁工事を実施
- ・主要地方道つくば真岡線水戸部工区の線形検討及び事業説明会を実施
- ・主要地方道宇都宮真岡線亀山北工区の改良工事及び舗装工事を実施
- ・一般県道西田井二宮線東大島工区の用地調査及び用地補償を実施
- ・一般県道石末真岡線堀内工区の改良工事を実施
- ・一般県道西小埜真岡線小林工区の用地補償及び改良工事を実施

4. 構成事業一覧（個別事務事業一覧）

[illegible]